

沖縄本島北部豪雨被災者支援のための 寄附金贈呈について



常任理事 玉城 研太郎

令和6年、沖縄本島北部地域を襲った記録的な豪雨により、国頭村、大宜味村、東村を中心に甚大な被害が発生しました。被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

沖縄県医師会では、被災地の復旧・復興を支援するため、会員の皆様のご賛同とご協力のもと寄附金を募り、申込総数340件、総額801万3千円のご寄附をお預かりいたしました。

贈呈にあたり、大宜味村役場において、国頭村・大宜味村・東村の各村長にご臨席いただき、以下の通り2度にわたり贈呈式を執り行いました。

・第1回目 令和6年12月26日(木)

申込数：135件 寄附額：396万3千円
(1村あたり132万1千円)

・第2回目 令和7年3月5日(水)

申込数：205件 寄附額：405万円
(1村あたり135万円)

合計：申込数340件 寄附額801万3千円
(1村あたり267万1千円)

贈呈式の間では、各村長より、「豪雨被害により未だ生活が成り立たない世帯もある」「精神的なダメージも少なからず見受けられる」といった、現在の厳しい状況についてのお話がありました。また、「医師会の皆様からの支援金は本当にありがたく、地域の大きな励みになる」との感謝の言葉も頂戴いたしました。

本取り組みが、被災された地域の方々の生活再建と心の支えの一助となることを心より願っております。改めまして、温かいご支援をお寄せくださった会員の皆様に深く感謝申し上げます。

今後も沖縄県医師会は、地域住民の健康と福祉を支える立場として、災害時の支援をはじめとする社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



第1回贈呈式



第2回贈呈式